

眞島竜男

略歴

- 1970 東京都に生まれる
 1990-1993 Fine Art, Goldsmiths College, University of London (BA)
 1997-2000 スタジオ食堂参加
 2000-2004 BゼミLearning System of Contemporary Art専任講師
 神奈川にて制作、活動

個展

- 2015 無題(Live Die Repeat)、TARO NASU、東京
 2014 TOLOT / heuristic SHINONOME、東京
 2012 「無題(栄光の彼方に) / Untitled (All the right moves)」TARO NASU、東京
 2010 「北京日記」TARO NASU、東京
 2005 「The Incredible Shrinking Pizza」Hiromi Yoshii、東京
 2000 「美人丸」ナガミネプロジェクト、東京
 東京画廊、東京
 1999 「Art-ing Tokyo 1999: 21×21」ギャラリー・ルデコ、東京
 1998 「サボテン・エンジン」ナガミネプロジェクト、東京
 1996 ギャラリー手、東京
 1995 「(1+(1,1+1)+1)カノーヴァン、愛知
 1994 Art-ing Tokyo 1999: 21×21、ギャラリー・ルデコ、東京

グループ展

- 2016 糸島国際芸術祭 糸島芸農、福岡
 岡山芸術交流 2016 Development/開発、岡山
 2015 「おおいとイレンナーレ 2015」大分フォーラス、大分
 PARASOPHIA 京都国際現代芸術祭、京都
 2014 「灰色」佐賀町アーカイブ/ドラッグアウトスタジオ、東京
 「混流温泉文化祭」熱海市、静岡
 「Amerika: idea / fantasy / dream / myth / image」Camberwell Space、ロンドン
 2013 「大野一雄フェス 横浜ダンス界限 2013」BankART、横浜
 「Go around Film Art」TRANS ARTS TOKYO 2013、マーチエキュート神田万世橋、東京
 「引込線 2013 -美術作家と批評家による第四回自主企画展-」旧所沢市立第2学校給食センター、埼玉
 「遭難」小金井アーツスポット、東京
 2012 「第7回 展覧会企画公募 But Fresh」トーキョーワンダーサイト本郷、東京
 「灰色」紙屋公民館、大分
 2011 「SUPER 8」Christopher Grimes Gallery、サンタモニカ、アメリカ (2012巡回: Yerba Buena Center for the Arts、サンフランシスコ、アメリカ / Künstlerhaus Bethanien、ベルリン、ドイツ)
 2007 「六本木クロッシング2007: 未来への脈動」森美術館、東京
 2006 「far beyond 4月のアーティストたち」表参道画廊、東京
 「食と現代美術Part2 美食同源」BankART 1929 Yokohama、神奈川
 2005 「Gallery Artist」Hiromi Yoshii、東京
 「秘伝ディメンション」Temporary Contemporary、東京
 「眞島竜男×渡辺英司」BABA、石川
 2004 「Art @ Agnes」アグネス ホテル アンド アパートメンツ 東京、東京
 2003 「108」Ise Cultural Foundation New York Gallery、ニューヨーク、アメリカ
 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2003: 現代美術とニプロール
 『ノート』/ニプロールwith眞島竜男」松代雪国農耕文化センター、新潟
 「Another World Museum」Gallery Side 2、東京
 「Sharjah International Biennial 6」Sharjah Museum/Expo Center、
 シュールジャー、アラブ首長国連邦
 2002 「第一回府中ビエンナーレ: ダブルリアリティ」府中市美術館、東京
 「bit 展 - 気体電池の詐称」東京画廊、東京
 2001 「今日の作家展 2001: アーティキュレート・ヴォイス」横浜市民ギャラリー、神奈川
 2000 「アーカスプロジェクト 2000」アーカススタジオ、茨城
 「佐賀町 2000」佐賀町エキジビットスペース、東京
 「Screening Japan」Hallo!/rum 46、Copenhagen/Arthus、デンマーク
 「空き地」豊田市美術館、愛知
 「VOCA展2000 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」上野の森美術館、東京
 「Ten Billion」dot、愛知

- 1999 「Networking」P-House、東京
「Art-ing Tokyo 1999: 21×21 - Index」セゾンアートプログラムギャラリー、東京
「Akihabara TV」command N/秋葉原電気街、東京
「New Life」スウェーデン大使館、東京
- 1998 「des-s-vert」スタジオ食堂、東京
「フィリップモリス アワード 1998 final selection」東京国際フォーラム、東京
- 1997 「Contemporary Art Festival」埼玉県立近代美術館、埼玉
「Contemporary Art from Japan」ハフナルボルグ美術館、Hafnarfjardhur、アイスランド
「Contemporary Art from Japan - Preview」あるびいの銀花/Space S、埼玉/東京
「アベリティブ」スタジオ食堂、東京
- 1996 「水彩の網展 III」ギャラリー手、東京
「Morphe '96」ラフォーレ原宿、東京
「On-Camp/Off-Base」東京ビッグサイト、東京
- 1995 「Departures」レントゲン藝術研究所、東京
「TAMA VIVANT '95」多摩美術大学、東京
「TAMA VIVANT '95 - Preview」ギャラリースペース21、東京
「Exotic Excursions」28 Fouberts Place、ロンドン、イギリス

パフォーマンス / レクチャー

- 2015 「野良」枝光本町商店街アイアンシアター、福岡
「美術館の猫」TARO NASU、東京
「フジタ・ダイアグラム」/「ツグジ・ファインダー」レオナール・フジタ展-パリへの視線にて、鳥取県立博物館
- 2014 「アジア上演する」blanClass、横浜
アラブドアートアニュアル2014、福島
PARASOPHIA 京都国際現代芸術祭 オープンリサーチプログラム、京都
「アートはどこから来たのか」清島アパート、別府
「『bid』パフォーマンス」blanClass、横浜
- 2013 「組立-雑談 終わらない美術-教育」東京造形大学 CS-lab、東京
「PEP」/「ぶんでんていてんかいそていてんしんぶんでんてんてんてん」/「今そこにある確率 (Clear and Present Probability)」/「Z・O・M・B・I・E」/「美術館の猫」六本木クロッシング2013:アウト・オブ・ダウト展にて、森美術館、東京
「Whenever Wherever Festival 2013 ラウンドテーブル | 振付の肖像」森下スタジオ、東京
「TWO STORIES 08 お尻川」清島アパート、別府
「眞島竜男 踊ります 2013年参院選」blanClass、横浜
「美術館の猫」清島アパート、別府
「ぶんでんていてんかいそていてんしんぶんでんてんてん」青山|目黒、東京
「美術館のものを奪う計画(仮)」MOTアニュアル2012「風が吹けば桶屋が儲かる」展にて、東京都現代美術館、東京
「美術館の猫」blanClass、横浜
「どうして、そんなにも、ナショナルなのか？」blanClass、横浜
- 2012 「今そこにある確率 (Clear and Present Probability) (仮)」blanClass、横浜
- 2011 「右/左」(再演)「BankART Life 3 新・港村 - 小さな未来都市」blanClassブース内、新港ピア、横浜
「ぶんでんていてんかいそていてんしんぶんでんてんてん」blanClass、横浜
「0.2」blanClass、横浜
- 2010 「右/左」blanClass、横浜
「鶴沼相撲 | 京都ボクシング」blanClass、横浜

展覧会企画

- 2003 「ダブル・ポジティブ2 The Party & The Show」府中市美術館、東京
1999 「ダブル・ポジティブ」スタジオ食堂、東京

ワークショップ

- 2013 「Go Go 油地獄! ~別府で「天ぶら」2013~」BEPPU ART MONTH、清島アパート、大分
2011 「Battering Feast~別府で「天ぶら」~」BEPPU ART MONTH、清島アパート、大分
「PEP in Beppu ~別府でPEP~」BEPPU ART MONTH、清島アパート、大分
2000 「アーカスプロジェクト 2000」アーカススタジオ、茨城
1999 「自分と同じ重さの彫刻を作ろう」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川

書籍

- 2013 「bid」著者:眞島竜男、外島貴幸 p. 44 / 210 mm × 210 mm / 1c 発行:bid編集部